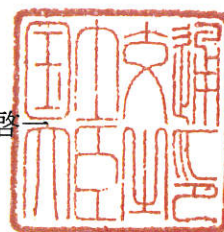


認 定 書

国住指第 2704 号
平成 29 年 12 月 1 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0957
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付排水管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
被覆材付排水管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：
寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形 (φ210mm 以下)
	面積	0.0347m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		52.4%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
被覆材	材料①	材料	①ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト・無機質フェルト ②ポリオレフィン系樹脂不織布付軟質塩化ビニル樹脂シート・PET フェルト	
		寸法	材料①：厚さ 材料②：厚さ 26.1mm 以下 被覆長さ：300mm 以上 (立て管、横枝管)	
		使用箇所	(1) 立て管 (材料②) (2) 横枝管 (材料②) (硬質ポリ塩化ビニル管の場合は、あり又はなし) (耐火二層管の場合は、なし) (3) ソケット周辺部 (材料①)	
	材料②	表面材	材料	①及び②の組合せ
			材料	あり又はなし ポリオレフィン系樹脂不織布
			質量	立て管、横枝管用 外層：50g/m ² 以下、内層：30g/m ² 以下 ソケット周辺部 50g/m ² 以下
			材料	無機質混入改質アスファルト： (1) (2) ソケット周辺部
			組成 (質量%)	ソケット周辺部
			厚さ	2.7mm 以下
		基材	密度	ソケット周辺部
			材料	無機質フェルト 種類：①、②又は③ ①グラスウール ②ロックウール ③セラミックウール系フェルト
			厚さ	3mm 以上
密度				
材料②	表面材	材料	①及び②の組合せ	
		材料	あり又はなし ポリオレフィン系樹脂不織布	
		質量		
		材料	軟質塩化ビニル樹脂シート	
		組成 (質量%)		
		厚さ	3.1mm以下	
	基材	密度		
		材料	PETフェルト	
		組成 (質量%)		
		厚さ	23mm以下	
	密度			

つづく

つづき

耐熱シールシート材		材料	化粧材付熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てんシート		
		寸法	総厚：2mm以上 幅：40mm以上		
		設置箇所	ソケットの周長1周以上		
	化粧材1	材料	あり又はなし 種類：①、②又は③ ①ポリオレフィン系繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ ③ガラス繊維強化アルミニウム系テープ		
		厚さ	0.2mm以下		
	シート	材料	熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てん材		
		厚さ	2mm以上		
		組成 (質量%)			
	化粧材2 (ソケット側)	材料	あり又はなし ポリオレフィン系フィルム		
		厚さ			
貫通部措置材		材料	アルミニウム・ガラスクロステープ張ロックウールシート・不織布付ロックウールフェルト		
		寸法	総厚さ 12.9(±0.5)mm以上、幅 150mm以上		
		使用箇所	床貫通部の管継手の周囲に巻き付け		
	材料	シート	材料	①、②及び③(3層) ①内層：ポリオレフィン系不織布付ロックウールフェルト ②中間層：ロックウールシート ③外層：アルミニウム・ガラスクロステープ	
			厚さ	総厚さ 12.9(±0.5)mm以上 ①内層厚さ：10.6(±0.6)mm ②中間層厚さ：2.1(±0.5)mm ③外層厚さ：0.2mm以上	
			密度	①内層： ②中間層：	
	テープ	材料	アルミニウムはく張ガラスクロステープ(酢酸ビニル樹脂系粘着剤付)		
		寸法	厚さ0.2mm以上		
		用途	シートの施工用		
	充てん材	材料	セメントモルタル		
組成 (質量%)		普通ポルトランドセメント	25		
砂			75		
	使用箇所 (使用量)	床と排水管(管継手)の隙間 (床厚方向100mm以上密に充てん)			

表3 配管の仕様

項目		仕様				
排水管	管継手	材料	本体：ねずみ鋳鉄品 (JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂系粉体焼き付け塗装 ゴムパッキン：EPDM あり又はなし 押輪：球状黒鉛鋳鉄品 (JIS G 5502) 留付材：ボルト (鋼製 (ステンレス鋼含む)) 横枝本数：4本以下			
		種類	受け口タイプ (床上) 差し口タイプ (床下)			
		外径	φ152mm以下			
	ソケット	材料	本体：排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手 (JIS K 6739) ゴムパッキン：CR			
		寸法	外径：150.6mm以下、内径：115.7mm以下			
	立て管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VP管、HIVP管、HT管))	外径	φ114.0mm以下	厚さ	7.1mm以下
	横枝管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VP管、HIVP管、HT管))		φ114.0mm以下		7.1mm以下
耐火二層管 (国土交通大臣認定：PS060FL-0383、0401、0454において配管として規定される繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管)		外管： φ138mm以下 内管： φ114.0mm以下		外管： 5.5mm以上 内管： 7.1mm以下		

4. 副構成材料の仕様：

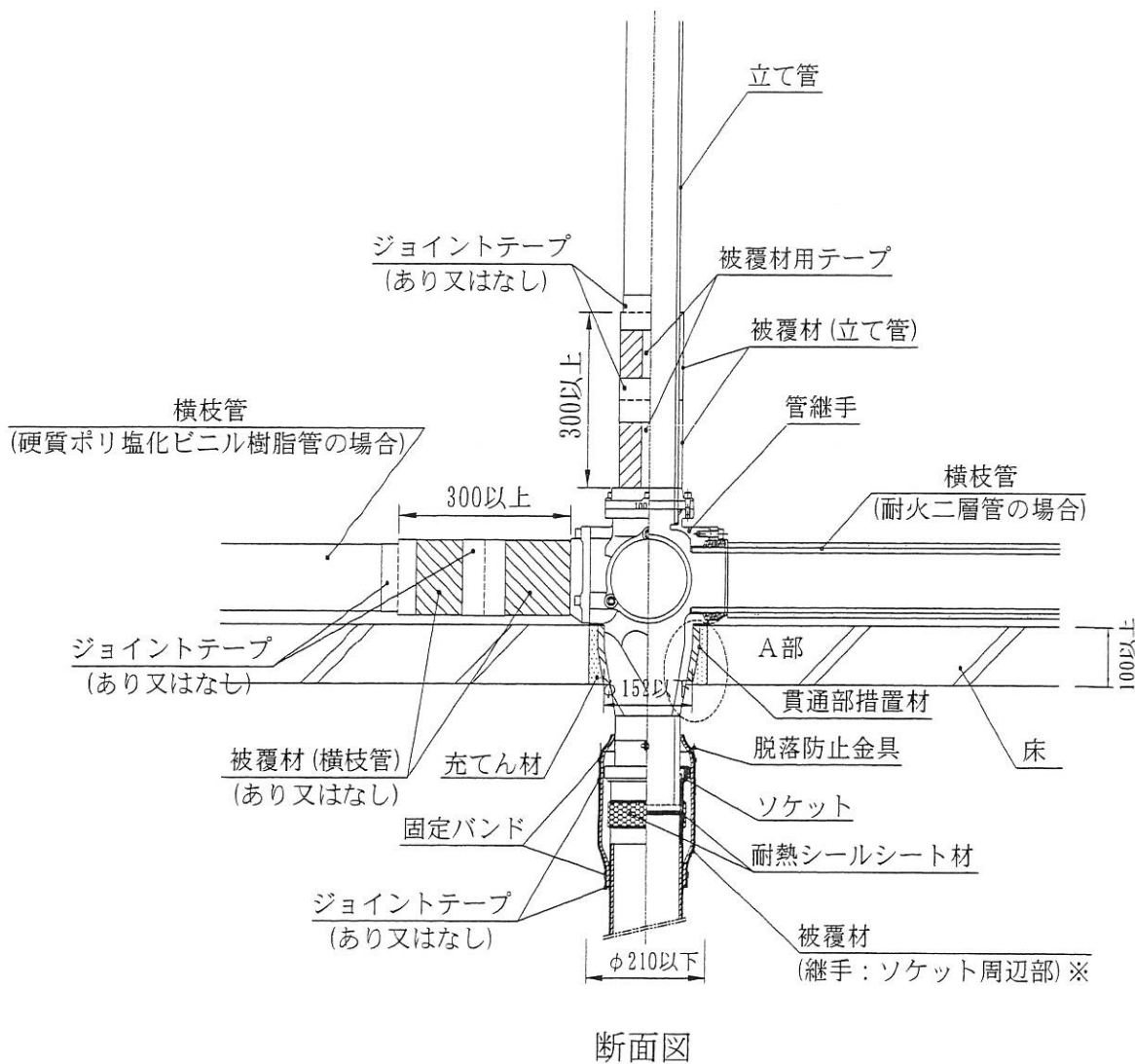
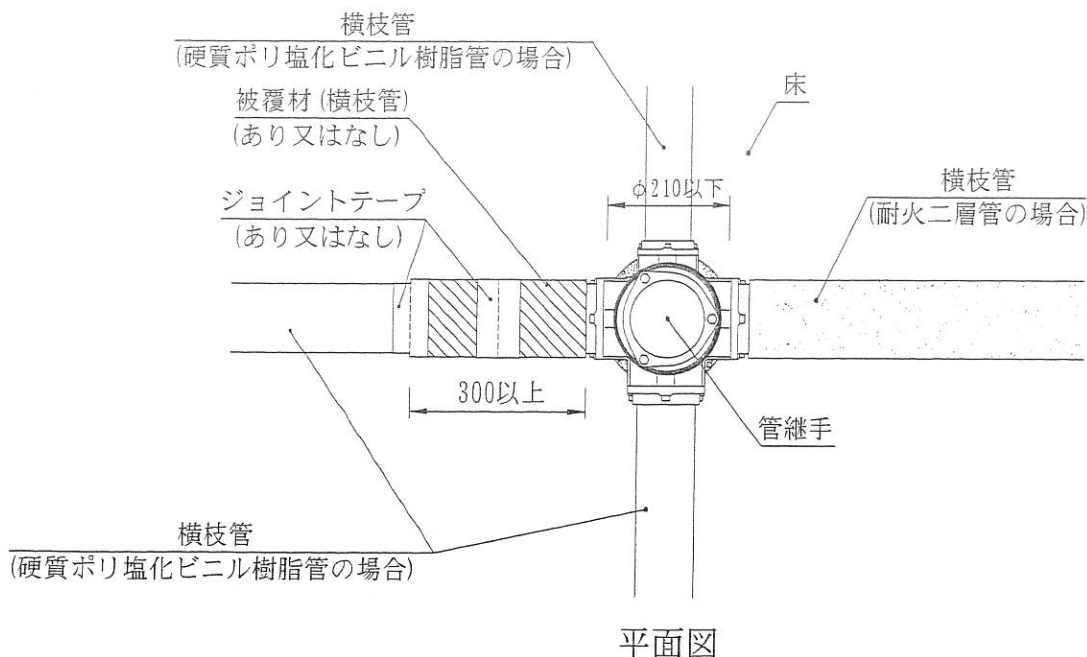
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
ジョイントテープ (あり又はなし)	材料	合成樹脂製 (合成ゴム系粘着剤付)	
	寸法	厚さ：0.95mm以下、幅：76mm以下	
	使用箇所	被覆材と配管の端部、被覆材同士、被覆材の中央に使用	
固定バンド	材料	鋼製 (鉄バインド線)	
	寸法	外径：φ1.6mm以上	
脱落防止金具	材料	鋼製 (めっき処理品含む)	
	厚さ	1.09mm以上	
被覆材用テープ	材料	①又は② ①布テープ (合成ゴム系粘着剤付) ②合成樹脂テープ (アクリル系粘着剤付)	
	寸法	厚さ：0.3mm以下、幅：76mm以下	
	使用箇所	被覆材の円筒状への貼り合わせに使用	

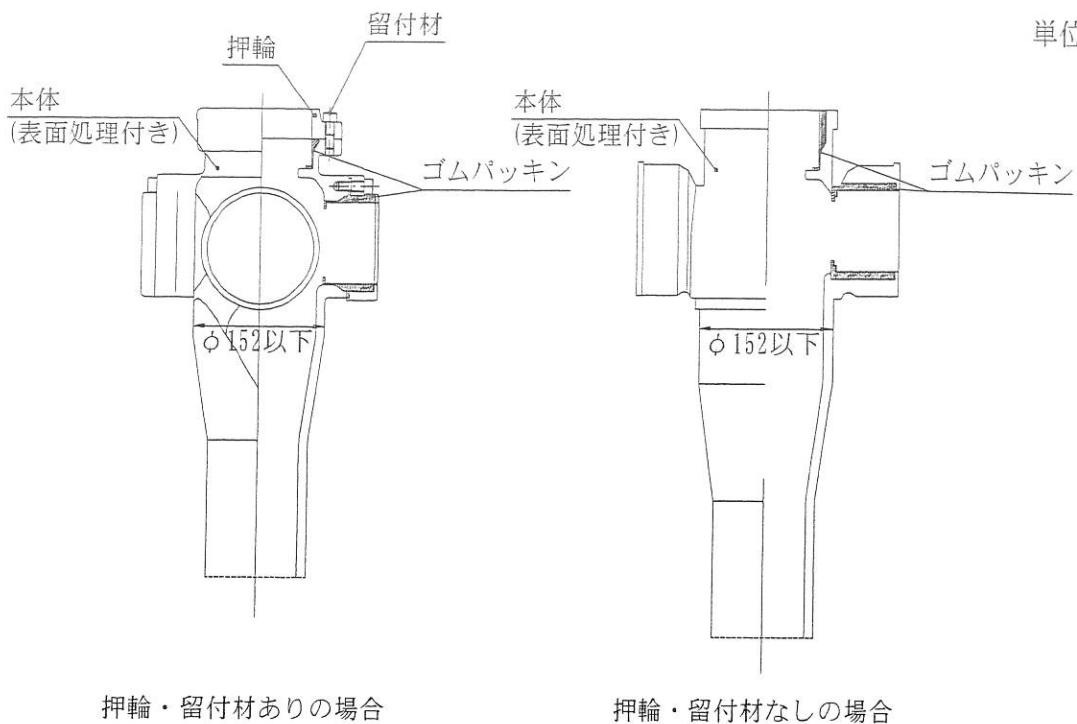
5. 構成説明図：

構成説明図を図1及び図2に示す。



注) ※印は、床下露出部の管継手を被覆する場合もある。

図1 構造説明図(施工図)



管継手詳細図(代表例)

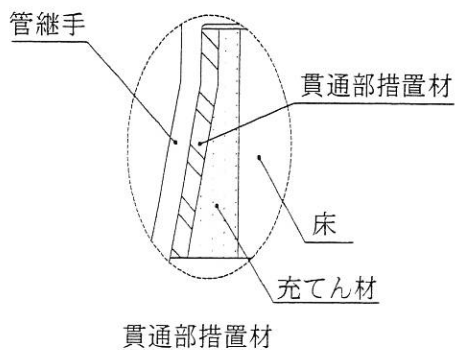
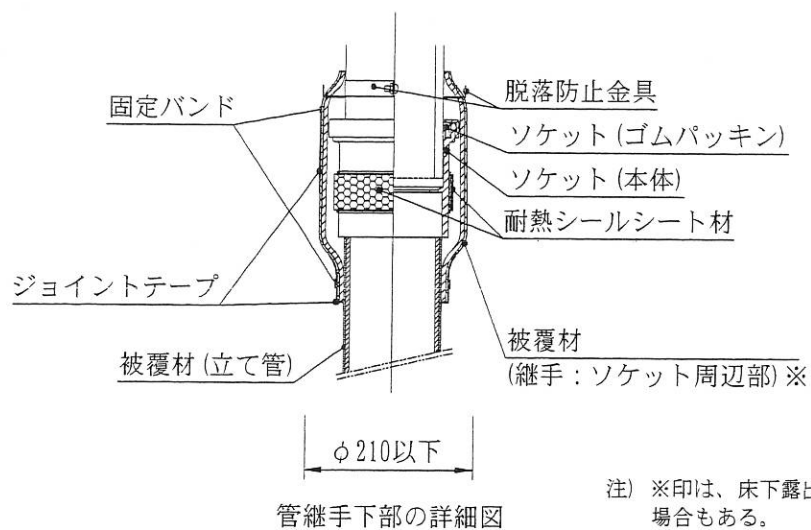


図2 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定
配管サイズ及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。
- (2) 管継手に貫通部措置材を設置
管継手に貫通部措置材を床板厚さ以上に隙間の無いように巻きつけ、その上にテープを巻き付ける。
- (3) 管継手の設置
管継手を所定の位置に設置する。
- (4) 埋戻し
セメントモルタルにて埋め戻し、隙間がないことを確認して仕上げる。
- (5) 配管の設置
立て管、横枝管に被覆材施工し、管継手に挿入し、管継手の下接続に耐熱シールシート材付ソケットを管継手に挿入し、支持・固定で固定し、さらに下部に配管を接続する。
- (6) 被覆材(ソケット)の巻付
被覆材を脱落防止金具の凸部に引っ掛け、ビス部以外の凸部の金具は、上に折り曲げて脱落しないように巻き付ける。躯体と被覆材(ソケット)の間は、被覆材と同一材料で巻き付け、バンドで固定し、ジョイントテープ留めしても良い。
- (7) テープ留め、バンド固定
バンドを用いる時は上端と下端を固定し、被覆材の突き合わせ面を立てにジョイントテープで留め、下部と上部もジョイントテープ留めする。